

2021年7月2号 いのちを守る教育を！ 平和憲法を護る！ 原発強化の炭素政策反対！



## 6月議会 給食無償化 請願賛成 松原のりかず討論

### 請願第7号 小・中学校の給食費の無償化を求める請願

6月議会本会議でも複数の関連質問がされました。残念ながら、教育長答弁は消極的な答弁でした。

岐阜県内の自治体で何らかの給食費無償化の政策に踏み込んでいる自治体は一自治体増えて、本年13自治体になりました。の中には、教育長が校長先生に就任されていた白川村も含まれています。岐阜市の初代子ども部長が副町長を担って見える岐南町もあります。

岐阜市教育委員会の報告によれば、令和3年度に小中学校の給食費無償化予算、約5700万～1億5000万円を組んだ自治体に、滋賀県高島市、三重県熊野市、山梨県甲州市が在るとの事です。令和2年度には、中核市の明石市は中学生全員を無償化し、同じく中核市の福島市は小中学校の給食費の1/4相当を無償化した。と教育委員会は報告しています。

教育委員会前事務局長に、以前「無償化を阻む法的根拠があるか」旨質問しました。当然ながら、答弁は「法的根拠は、ありません」でした。財政的には、毎年8～10億円の不用額を決算する教育委員会です。さらには、現在約20億円の国補助金を活用せず、30億円のタブレットを随意契約した件で、市民から監査請求が出され、審査中です。

請願は、市内、小中学校給食費の無償化を求めています。義務教育です。義務教育に必要とされる費用は、無償化、無料が基本と考えます。前教育長は、自身の義務教育時代に、「義務教育の教科書が有料から無料に改善された」事実を知りながら、「裕福な家庭の子も、裕福でない家庭の子も同様に給食費が無償となるのはおかしい。」と、文教委員会で答弁しました。義務教育の教科書は全国あまねく無料です。真摯な答弁とは言えません。

請願趣旨は、現在のコロナ禍にもふれています。経済対策、生活再建対策、コロナ対策としての側面も重要です。大阪市は、給食無償化に60億円以上を予算化しました。

岐阜市の中学校給食費の半額予算は、概ね2億8000万円です。既に助成されている予算を除くと、追加予算は約2億4000万円で市内中学校全員の給食費の半額無償化が出来ます。無所属クラブは、半歩前進を求めますが、最終目標は全額無償化であり、請願趣旨と同様です。

**給食無償化 請願の願意は妥当であり、採択すべきものと主張いたします。**

連絡先 岐阜市議会議員 松原のりかず 岐阜市沖ノ橋町1-21 でんわ 253-2500

## 保健所従事者へエール

## 松原のりかず 意見書趣旨弁明

市議第10号 コロナ禍の最前線で勤務する保健所従事者等への支援策創設を求める意見書(案)

6月議会は、複数の議員からコロナ対策、ワクチン接種対策での市対応と同時に、その業務に当たる保健所現場の過労体制回避への温かい質問が、相次ぎました。

新聞はこう報道しています。すなわち、

質問者は、新型コロナウイルス対策とワクチン接種を担当する感染症対策課が属する保健衛生部の時間外勤務の実態をたじた。行政部長は「過労死ライン」の目安とされる月80時間を超える残業をした職員数について、「4月は14人、第4波である5月は28人。5月の最多は185時間」と答弁した。「コロナ禍で職員への負担はこれまでになく大きい。家族にも負担や心配をかけている」と述べた。と報道されています。

(これは、石原議員の本会議質問の岐阜新聞報道です。この質問後、意見書には賛成頂けなかった・・・)

質問趣旨は、コロナ対策、ワクチン接種対策の強化と同時に、その業務に当たる職場の健康管理体制も重要であると、現場にエールを送る質問内容と理解しました。

さて、手当による支援策では、勤務時間の軽減に替わるものではありません。が、現場で奮闘する職員に議会議決としてエールを送る事は重要な行為です。

「意見書」は、訴えています。

新型コロナ禍は2年目となり、市民生活にも大きな疲労と歪みが蓄積されて来た。この間、国による医療従事者への20万円支援策が実行された。感染拡大で医療現場は勿論繁忙だが、感染者の特定、濃厚接触者の特定作業など保健所現場の繁忙がその前に現出している。更には、新型コロナワクチン接種体制を構築する作業が重要施策として取り組まれている。これらの作業が過労死ラインを超えるような実態を保健所現場に現出させている。勿論、人的対応に関係機関も努力しているが、専門性を求められる業務もあり困難を極めている。保健所職場も新型コロナ対策の最前線である。しかし、保健所職場従事者等への国からの支援策は、病院医療従事者と異なり、現在まで実行されていない。よって、国におかれては、下記事項について取り組むことを強く要望する。

### 1 医療従事者へ実行したと同等の支援策を、保健所従事者等への支援策として創設すること。

議員各位のご賛同を御願いし、趣旨弁明とさせていただきます。

**賛成** 無所属クラブ、共産、にじいろ

**反対** 自民、公明、市民クラブ(趣旨弁明で紹介した質問が新聞報道された石原議員、富田議員 含む) 他

議長は表決に加わらない。



松原のりかず  
☎058-253-2500